

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 12 日(2022.8.12)

【公開番号】特開 2022-33359(P2022-33359A)

【公開日】令和 4 年 2 月 28 日(2022.2.28)

【年通号数】公開公報(特許)2022-035

【出願番号】特願 2022-1760(P2022-1760)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 3 日(2022.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、前記遊技盤を収納した本体枠を備え、
前記本体枠には前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、前記遊技領域を流下し、前
記遊技盤から排出された遊技球を回収し、再び前記発射装置の発射位置に搬送する搬送経
路を備え、
遊技球の払い出しを行うことなく、所定数量の遊技球を循環させることで遊技を行うよう
にした遊技機であって、
前記搬送経路には、スクリー部によって遊技球を揚送する揚送装置を備え、前記揚送装
置の近傍には球磨き部を備え、
前記揚送装置に設けられた開口部を通じて遊技球は前記球磨き部と接触し、揚送に伴う遊
技球の移動により遊技球を磨くものであり、
前記開口部は遊技球が通過し得ない大きさであり、前記球磨き部を装着せずとも遊技球は
前記揚送装置からこぼれず、
さらに、前記遊技盤に設けられた始動口への入球に基づいて抽選を行うとともに、前記抽
選の結果に応じて図柄を変動表示させる遊技制御を実行可能な遊技制御手段を備え、
前記球磨き部は前記遊技機に対して着脱交換が可能であり、
前記球磨き部が前記遊技機から取り外された状態であっても前記遊技制御手段による遊技
制御が可能とされる
ことを特徴とした遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、所定数量の遊技球を閉鎖的に循環させて遊技を行わせる封入球式の遊技機に
関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

従来技術の封入球式の遊技機として特許文献 1 のような遊技機がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】 特開 2 0 1 3 - 0 8 1 6 9 5 号公報

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

20

【 0 0 0 5 】

しかしながら、特許文献 1 に記載の遊技機には、改良の余地がある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

30

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

そこで、本発明の課題は、従来 of 遊技機を改良した遊技機を提供することにある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

40

【 0 0 0 8 】

本願発明は、

「遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、前記遊技盤を収納した本体枠を備え、前記本体枠には前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、前記遊技領域を流下し、前記遊技盤から排出された遊技球を回収し、再び前記発射装置の発射位置に搬送する搬送経路を備え、

遊技球の払い出しを行うことなく、所定数量の遊技球を循環させることで遊技を行うようにした遊技機であって、

前記搬送経路には、スクリー部によって遊技球を揚送する揚送装置を備え、前記揚送装

50

置の近傍には球磨き部を備え、

前記揚送装置に設けられた開口部を通じて遊技球は前記球磨き部と接触し、揚送に伴う遊技球の移動により遊技球を磨くものであり、

前記開口部は遊技球が通過し得ない大きさであり、前記球磨き部を装着せずとも遊技球は前記揚送装置からこぼれず、

さらに、前記遊技盤に設けられた始動口への入球に基づいて抽選を行うとともに、前記抽選の結果に応じて図柄を変動表示させる遊技制御を実行可能な遊技制御手段を備え、

前記球磨き部は前記遊技機に対して着脱交換が可能であり、

前記球磨き部が前記遊技機から取り外された状態であっても前記遊技制御手段による遊技制御が可能とされる

10

ことを特徴とした遊技機。」である。

また、本願発明とは異なる別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

〔解決手段１〕に係る遊技機は、遊技制御を行うと共に、始動条件の成立に基づいて制御コマンドを出力する主制御基板と、前記主制御基板から出力された前記制御コマンドに基づいて演出制御を行う周辺制御基板と、交流電源をもとにして、直流の各種作動電源を生成する電源基板と、前記周辺制御基板により演出制御されて電磁的駆動源によって可動する複数の可動役物と、を備えた遊技機において、

前記電源基板により生成された作動電源による電力を監視し、前記電力が予め定められた規定値を超過した場合に、作動信号を出力する電力監視手段と、前記作動電源により充電される一方、放電することにより、前記複数の可動役物の電磁的駆動源に対して動作用の電源を供給する補助電源手段と、前記電力監視手段から出力された前記作動信号を受けると、前記補助電源手段を充電状態から放電状態へ切り換える電源切換手段と、を備えた、ことを特徴とする遊技機。

20

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

本発明の封入球式の遊技機によれば、従来の遊技機を改良し、遊技に供される遊技球を磨きながらも稼働時間の長い遊技機を提供することが出来る。

30

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

40

50